

新規	新規	分野	荒廃山地の復旧等の治山		事業番号	4	事業名	山地治山(予防治山)					
市町村名		須坂市		ふりがな 箇所名	がらござん 臥竜山			事業年度 (完了年度は見込み)	H23	年度~	H23	年度	
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)		山腹工0.10ha 落石防護柵工L=20m					H22年度末事業進捗率		0%			
	H23年度以降実施内容		同上					本工事費等ベース		0%			
	H23年度実施内容		同上					用地補償費ベース		-%			
	年度		全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降残		
	事業費計(千円)		11,600		0		0		11,600		11,600		
財源内訳	国庫支出金		5,830		0		0		5,830		5,830		
	その他												
	県債		5,193		0		0		5,193		5,193		
	一般財源		577		0		0		577		577		
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部	政策評価課			
									ランク	評点	ランク	評点	
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上			1~9戸		0戸		B	0	B	0
		保全対象公共施設	2箇所以上			1箇所		なし			5		5
		保全対象に弱者施設があるか	重要施設			一般施設		なし			0		0
		保全対象(保安林・林業用施設)	「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上			保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり		保安林率30%未満			7		7
	小計									12		12	
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去5年に1回以上			災害履歴地		なし		B	0	B	0
		交通遮断による地域経済などへの影響	大			中		小			3		3
		防災計画上の位置づけ	あり			なし					5		5
	小計									8		8	
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C2.0以上			B/C1.0以上2.0未満		B/C1.0未満		A	10	A	10
		早期発現度	3年未満			3年以上5年未満		5年以上			7		7
		流域の総合調整	あり			なし					0		0
	小計									17		17	
	緊急性 (25)	最寄の保全対象までの距離	50m未満			50m以上200m未満		200m以上		B	4	B	4
		地形、地質の状況	火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯かつ地すべり地形			火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯		その他			2		2
		平均床床勾配(平均山腹勾配)	10°以上(30°以上)			5°~10°未満(20~30°未満)		5°未満(20°未満)			3		3
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	なし			あり(概ね満砂)		あり(ポケットあり)			3		3
		危険地区危険度	Aランク			Bランク		Cランク			4		4
小計									16		16		
計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い			市町村要望有り		特に要望ない		B	7	B	7	
	事業情報の共有	関係者以外にも周知			関係者中心に周知		特に周知していない			3		3	
	住民参加の状況	住民が直接参加			住民市町村意見を反映		住民意見反映していない			3		3	
小計									13		13		
費用対効果(B/C)		2.97			評価の合計				B	66	B	66	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	H7、H12年、H13年度に落石防護柵工を施工している。また、市道に接した臥竜山西側斜面に直下の動物園を保全対象としたモルタル吹付工が施工されている。直接の保全対象である須坂市動物園は、昭和37年10月1日開園。年間入園者数は、3年連続して20万人を超えている。また、隣接地には須坂博物館や運動場、野球場、竜ヶ池、桜の名所100選にも選ばれている臥竜公園がある。一体が総合的な観光施設となっており、風致地区重要なエリアである。今年度の臥竜山定期巡視の際に、以前からあった山頂付近露岩部の亀裂がさらに発達し、一部が下方に落下している状況を確認した。保全対象である動物園連絡通路と市道に落下する危険性が高いため、事業実施することとしたい。											
	地域からの要望経緯	来場者の安全性向上のため、落石危険箇所直下の須坂市動物園からの事業要望が強い。											
	事業説明等の経緯	須坂市動物園園長は現地にて落石危険箇所の確認を行っている。近接した興國寺に対しても事業説明は平成21年11月9日に行った。											
	環境・景観への配慮項目	須坂市都市計画の風致地区に指定され、動物園の裏手の観光名所にもなっている須田城址跡臥竜山内に施工するため、落石防護柵工(高エネルギー吸収タイプ)を使用し、立木をできる限り残存させ景観に配慮する。また、斜面中腹に設置することで、周辺から目立たないように配慮する。											
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。											
特記事項	北側動物園との連絡通路になっている歩道には落石防止のためのネットが張られているが、大径の落石に対する設計になっていない。												
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他				
部意見	落石対策を目的とした治山事業施行地であるが、事業実施後10年を経過し、山腹斜面の浸食、風化により、新たな落石の危険性が確認されることから、保安林の管理上、追加対策の必要がある。					政策評価課意見		落石対策の必要性は認められる。					